

2009年度 大学院入学試験要項

経済学研究科 地域政策専攻 修士課程

経営学研究科 経営学専攻 修士課程

法学研究科 ビジネス法学専攻 修士課程

(上記3研究科は税理士養成コースを含む)

人間文化研究科 人間文化専攻 修士課程

一般試験選考

社会人選考

留学生選考

京都学園大学

2009年度 大学院 入学試験概要

2009年度(平成21年度)の入学試験を下記の要領により実施します。

●募集研究科及び入学定員

研究科	専攻・コース	入学定員
経済学研究科	地域政策専攻	5名
経営学研究科	経営学専攻	5名
法学研究科	ビジネス法学専攻	10名
※上記3研究科の定員は税理士養成コースを含む		
人間文化研究	人間文化専攻	文化研究コース
		社会情報コース
		心理学コース
		臨床心理学コース
		15名(うち臨床心理学コースは6名)

●入試日程

	選考区分	研究科	入学定員	出願期間	選考日	合格発表日	1次手続締切日	2次手続締切日
前期	一般試験選考 社会人選考 留学生選考	経済学	5名	2008年 9月16日(火) ～ 2008年 9月26日(金)	2008年 10月4日(土)	2008年 10月14日(火)	2008年 10月20日(月)	2008年 12月19日(金)
		経営学	5名					
		法学	10名					
		人間文化	15名					
後期	一般試験選考 社会人選考 留学生選考	経済学	若干名	2009年 2月2日(月) ～ 2009年 2月12日(木)	2009年 2月22日(日)	2009年 3月3日(火)	2009年 3月9日(月)	2009年 3月16日(月)
		経営学	若干名					
		法学	若干名					
		人間文化	若干名					
(入学定員は各入試区分を含む)								

※法学研究科の後期留学生選考は、実施いたしません。

*出題上の注意

大学院修了者及び修了見込者は、大学の卒業証明書・成績証明書とともに大学院の修了(見込)証明書と成績証明書も提出すること。

※出願期間外の受付は一切行いません。(当日消印有効)

出願に係わる個人情報の取り扱いについて

受験生の方からご提出いただいた出願書類により、本学が保有した個人情報は、以下のように利用させていただきますので、あらかじめご了承ください。

- ア. 出願書類に不備があった場合に当該受験生に連絡を取り、指導します。場合によっては、当該受験生の所属する大学等に連絡を取ります。
- イ. 受験票を当該受験生に送付します。
- ウ. 可否通知を当該受験生に通知します。
- エ. 合格者に入学手続き書類等を送付します。
- オ. 個人を特定しない集計処理をします。
- カ. 入学式の案内、学生総合保険等を送付します。
- キ. 入学後の各種案内を送付・連絡します。
- ク. 入学後の名簿作成等に利用します。
- ケ. 個人情報および入試結果のデータ処理を業者に委託する場合があります。なお、委託業者は、上記の情報およびデータを京都学園大学が明示する用途のみに使用し、受託業務を超えて利用することはありません。本学は、委託先における個人情報の保護が適切になされ、安全管理が十分に行われていることを業者選定の基準にしています。

出願に係わる個人情報は、あらかじめ本人の同意を得ないで第三者に提供しません。ただし、①法令に基づく場合、②個人の生命・身体又は財産の保護のために必要がある場合であって本人の同意を得ることが困難であるときなど、個人情報保護法並びに学校法人京都学園個人情報の保護に関する規程に定める特段の事情がある場合は、この限りではありません。

なお、出願に係わる個人情報の取り扱いについてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

京都学園大学
入試課 TEL 0771-29-2222

2009年度 経済学・経営学・法学研究科

〈税理士養成コース一般試験選考〉入試要項

1. 出願資格

前期 出願資格：下記①～⑤の要件のいずれかに該当する者。

後期 出願資格：下記①～⑥の要件のいずれかに該当する者。

①大学を卒業した者、及び2009年3月末卒業見込みの者。

②学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者、及び2009年3月末までに授与される見込みの者。

③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、及び2009年3月末までに修了見込みの者。

④文部科学大臣の指定した者。

⑤本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で満22歳以上の者。

⑥2009年3月末日において大学に3年以上在学し100単位以上修得見込み（注1）であり、かつ出願時における修得単位の80%以上が優（注2）である者。（飛び級）

（注1）「100単位」には、免許・資格科目等の卒業要件に含まれない単位は含まない。なお、最終修得単位数が、100単位未満であった場合は、入学資格を取り消す。本学研究科に合格し、出身大学の最終成績が確定した者は、速やかに成績証明書を入試課に提出すること。

（注2）「80%以上が優」は、成績表記が、A・B・C等を使用し、優良可でない場合、素点で80点以上であることがわかる書類を添付すること。例：履修要項等のコピー（A:100～80、B:79～70、C:69～60）

なお、編入学・留学・単位互換制度等、出身大学以外での取得科目がある場合は、取得した教育機関の成績証明書を添付すること。

*出願資格⑤によって出願しようとする者については、事前に資格審査を行う。（P.20参照）

2. 日程 1ページ入試日程参照

3. 選考方法

筆記試験、面接試験、書類審査により総合的に判定する。

①筆記試験は、出願時に選択する2科目で行う。（4. 試験科目の欄を参照）

②面接試験は、研究計画を中心に行う。

③書類審査は、出願書類について行う。

4. 試験日時・試験科目及び場所

選考日 前期 2008年10月4日（土）

後期 2009年2月22日（日）

時間	試験科目	
10:00～ 12:00	筆記試験	次の専門科目から2科目、または次の専門科目1科目及び外国語1科目の合計2科目について行う。（出願時に選択） 【専門科目】経済理論、経済政策、財政学、金融論 経営管理論、企業経営論、NP0論、商学・マーケティング論、財務会計論 管理会計論、経営分析論 憲法、民法、税法、会社法 【外国語科目】英語（経済学）、英語（経営学）、英語（法律学）
13:00～	面接	

（注）1. 外国語科目の試験については、辞書の持ち込みは可。ただし、電子辞書の持ち込みは不可。

2. 法律科目については、六法（判例・注解・解説等のないもの）の持ち込みは可。

試験場所は本学とし、会場は当日指定する。

5. 出願書類

①入学願書（志願票・写真票） 第3志望まで出願可。

②卒業証明書または卒業見込証明書（出願資格⑥の飛び級の場合は在学証明書）

③成績証明書（出身大学等が作成し厳封したもの）

※出願資格⑥の要件で出願する編入学生は、編入学前の出身大学または短期大学の成績証明書も必要。

④研究計画書（800字程度） 注参照

注【研究計画書の様式について】

文頭に志望研究科、氏名を明記し、下記の様式で作成すること。

（イ）可能な場合、同封の研究計画書の用紙を使用すること。

（ロ）パソコンで作成する場合

用紙は縦長A4版の白色紙（感熱紙を除く）に、黒で印字すること。書式は、横書き1行40字以内で、文字サイズ・間隔等は読みやすく設定すること。

（ハ）手書きの場合

用紙は市販のA4版400字詰め縦長原稿用紙に、黒のペンで横書きとする。

2009年度 経済学・経営学・法学研究科

<税理士養成コース社会人選考>入試要項

1. 出願資格

大学卒業後3年以上経過した者。

2. 日 程

1ページ入試日程参照

3. 選考方法

面接試験、書類審査により総合的に判定する。

①面接試験は、研究計画を中心に行う。

②書類審査は、出願書類について行う。

4. 試験日時・試験科目及び場所

選考日 前期 2008年10月4日(土)

後期 2009年2月22日(日)

時 間	試 験 科 目
10:30～	面 接

※ 試験場所は本学とし、会場は当日指定する。

5. 出願書類

①入学願書(志願票・写真票) 第3志望まで出願可。

②卒業証明書

③成績証明書(出身大学等が作成し厳封したもの)

④履歴書(本学所定の用紙)

⑤研究計画書(研究計画の内容及び実務経験と研究計画との関連を具体的に書くこと。2,000字程度)
注参照

注【研究計画書の様式について】

文頭に志望研究科、氏名を明記し、下記の様式で作成すること。

(イ)可能な場合、同封の研究計画書の用紙を使用すること。

(ロ)パソコンで作成する場合

用紙は縦長A4版の白色紙(感熱紙を除く)に、黒で印字すること。書式は、横書き1行40字以内で、文字サイズ・間隔等は読みやすく設定すること。

(ハ)手書きの場合

用紙は市販のA4版400字詰め縦長原稿用紙に、黒のペンで横書きとする。

2009年度 法学研究科〈一般試験選考〉入試要項

1. 出願資格

前期 出願資格：下記①～⑤の要件のいずれかに該当する者。

後期 出願資格：下記①～⑥の要件のいずれかに該当する者。

- ①大学を卒業した者、及び2009年3月卒業見込みの者。
- ②学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者、及び2009年3月末までに授与される見込みの者。
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、及び2009年3月末までに修了見込みの者。
- ④文部科学大臣の指定した者。
- ⑤本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で満22歳以上の者。
- ⑥2009年3月末日において大学に3年以上在学し100単位以上修得見込み（注1）であり、かつ出願時における修得単位の80%以上が優（注2）である者。（飛び級）

（注1）「100単位」には、免許・資格科目等の卒業要件に含まれない単位は含まない。なお、最終修得単位数が、100単位未満であった場合は、入学資格を取り消す。本学研究科に合格し、出身大学の最終成績が確定した者は、速やかに成績証明書を入試課に提出すること。

（注2）「80%以上が優」は、成績表記が、A・B・C等を使用し、優良可でない場合、素点で80点以上であることがわかる書類を添付すること。例：履修要項等のコピー（A:100～80、B:79～70、C:69～60）

なお、編入学・留学・単位互換制度等、出身大学以外での取得科目がある場合は、取得した教育機関の成績証明書を添付すること。

* 出願資格⑤によって出願しようとする者については、事前に資格審査を行う。（P.20参照）

2. 日程 1ページ入試日程参照

3. 選考方法

筆記試験、面接試験、書類審査により総合的に判定する。

①筆記試験は、出願時に選択する2科目で行う。（4. 試験科目の欄を参照）

②面接試験は、研究計画を中心に行う。

③書類審査は、出願書類について行う。

4. 試験日時・試験科目及び場所

選考日 前期 2008年10月4日（土）

後期 2009年2月22日（日）

時間	試験科目	
10:00～ 12:00	筆記試験	次の専門科目から2科目、または次の専門科目1科目及び外国語1科目の合計2科目について行う。（出願時に選択） 【専門科目】憲法、民法、刑法、会社法、民事訴訟法、刑事訴訟法 経営管理論、企業経営論、NPO論 商学・マーケティング論、財務会計論、管理会計論、経営分析論 【外国語科目】英語（法律学）、英語（経営学）
13:00～	面接	

（注）1. 外国語科目の試験については、辞書の持ち込みは可。ただし、電子辞書の持ち込みは不可。

2. 法律科目については、六法（判例・注解・解説等のないもの）の持ち込みは可。

試験場所は本学とし、会場は当日指定する。

5. 出願書類

①入学願書（志願票・写真票） 出願時に希望する演習科目を明記すること。

②卒業証明書または卒業見込証明書（出願資格⑥の飛び級の場合は在学証明書）

③成績証明書（出身大学等が作成し厳封したもの）

※出願資格⑥の要件で出願する編入学生は、編入学前の出身大学または短期大学の成績証明書も必要。

④志望動機・研究計画書（目下の研究関心事項を中心に書くこと。800字程度） 注参照

留学生については次の書類も併せて提出すること。

⑤個人調書（本学所定の用紙）

⑥経費支弁能力を証明する書類

注【志望動機・研究計画書の様式について】

文頭に志望研究科、氏名を明記し、下記の様式で作成すること。

（イ）可能な場合、同封の研究計画書の用紙を使用すること。

（ロ）ワープロあるいはパソコンで作成する場合

用紙は縦長A4版の白色紙（感熱紙を除く）に、黒で印字すること。書式は、横書き1行40字以内で、文字サイズ・間隔等は読みやすく設定すること。

（ハ）手書きの場合

用紙は市販のA4版400字詰め縦長原稿用紙に、黒のペンで横書きとする。

2009年度 法学研究科<社会人選考>入試要項

1. 出願資格

大学卒業後3年以上経過した者。

2. 日 程

1ページ入試日程参照

3. 選考方法

面接試験、書類審査により総合的に判定する。

①面接試験は、研究計画を中心に行う。

②書類審査は、出願書類について行う。

4. 試験日時・試験科目及び場所

選考日 前期 2008年10月4日(土)

後期 2009年2月22日(日)

時 間	試 験 科 目
13:00～	面 接

試験場所は本学とし、会場は当日指定する。

5. 出願書類

①入学願書(志願票・写真票) 出願時に希望する演習科目を明記すること。

②卒業証明書

③成績証明書(出身大学等が作成し厳封したもの)

④履歴書(本学所定の用紙)

⑤志望動機・研究計画書(目下の研究関心事項を中心に書くこと。1,500字程度) 注参照

⑥在職者は、可能な場合、勤務先の推薦書または承諾書を添付すること。

注【志望動機・研究計画書の様式について】

文頭に志望研究科、氏名を明記し、下記の様式で作成すること。

(イ)可能な場合、同封の研究計画書の用紙を使用すること。

(ロ)ワープロあるいはパソコンで作成する場合

用紙は縦長A4版の白色紙(感熱紙を除く)に、黒で印字すること。書式は、横書き1行40字以内で、文字サイズ・間隔等は読みやすく設定すること。

(ハ)手書きの場合

用紙は市販のA4版400字詰め縦長原稿用紙に、黒のペンで横書きとする。

2009年度 法学研究科<留学生選考>入試要項

1. 出願資格

下記①～③のいずれかに該当し、かつ④に該当する者。

- ①外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2009年3月末までに修了見込みの者。
- ②日本において、外国人留学生として大学を卒業した者及び2009年3月末までに卒業見込みの者。
- ③前項と同等以上の学力を有すると本大学院が認定した者で満22歳以上の者。
- ④大学院の講義が理解できる程度の日本語の能力を有すること。

*出願資格③によって出願しようとする者については、事前に資格審査を行う。(P.20参照)

2. 日 程 1ページ入試日程参照

3. 選考方法

面接試験、書類審査により総合的に判定する。

- ①面接試験は、日本語能力及び研究計画を中心に行う。
- ②書類審査は、出願書類について行う。

4. 試験日時・試験科目及び場所

選考日 前 期 2008年10月4日(土)

時 間	試 験 科 目
13:00～	面 接

試験場所は本学とし、会場は当日指定する。

5. 出願書類

- ①入学願書(志願票・写真票) 出願時に希望する演習科目を明記すること。
- ②卒業証明書または卒業見込証明書
- ③成績証明書(出身大学等が作成し厳封した英語併記のもの)
- ④志望動機・研究計画書(目下の研究関心事項を中心を書くこと。1,500字程度) 注参照
- ⑤個人調書(本学所定の用紙)
- ⑥財日本国際教育支援協会(日本国外では国際交流基金)の実施する日本語能力試験(1級)、または、日本留学試験(日本語)(220点以上)の成績通知書の原本(オリジナル)
両試験を受けていない場合は、日本語講師、日本政府在外公館員等による日本語能力認定書を提出すること。
- ⑦経費支弁能力を証明する書類

【注意】

出願書類に記入する氏名は外国人登録済証明書またはパスポート記載の氏名を用いること。
入学願書、個人調書等出願書類は必ず志願者自身が日本語で記入すること。

注【志望動機・研究計画書の様式について】

文頭に志望研究科、氏名を明記し、下記の様式で作成すること。

(イ)可能な場合、同封の研究計画書の用紙を使用すること。

(ロ)ワープロあるいはパソコンで作成する場合

用紙は縦長A4版の白色紙(感熱紙を除く)に、黒で印字すること。書式は、横書き1行40字以内で、文字サイズ・間隔等は見やすく設計すること。

(ハ)手書きの場合

用紙は市販のA4版400字詰め縦長原稿用紙に、黒のペンで横書きとする。

経済学・経営学・法学 各研究科共通事項

出願手続の方法・注意

- ① 同封の願書により入学検定料**35,000円**を出願期間内に本学指定の銀行口座に「電信扱い」で振り込むこと。（郵便局は不可）
- ② 各研究科に応じた出願書類を本学所定の封筒にて出願期間内に本学入試課に書留速達で郵送すること。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があった場合は受験を認めません。
また、受験後に判明した場合は、合格及び入学を取り消します。
※一旦納付した入学検定料は、理由の如何にかかわらず返還しません。

合格発表

合格結果は速達にて郵送します。合格者には入学手続書類を同封します。

入学手続期間

		選考日	合格発表	1次手続締切日	2次手続締切日
前期	一般入試選考 社会人選考 留学生選考	2008年 10月4日(土)	2008年 10月14日(火)	2008年 10月20日(月)	2008年 12月19日(金)
後期	一般入試選考 社会人選考 留学生選考	2009年 2月22日(日)	2009年 3月3日(火)	2009年 3月9日(月)	2009年 3月16日(月)

学費等（2008年度参考。2009年度学費等は入学手続要項に記載）

<一般学生>

		本学（大学又は大学院）卒業生		本学卒業生以外	
		入学手続時納付（春学期）	10月納付（秋学期）	入学手続時納付（春学期）	10月納付（秋学期）
学費	入学金	100,000円	——	200,000円	——
	授業料	272,500円	272,500円	272,500円	272,500円
	施設設備費	64,500円	64,500円	96,000円	96,000円
	合計	437,000円	337,000円	568,500円	368,500円

<外国人留学生>

		本学（大学又は大学院）卒業生		本学卒業生以外	
		入学手続時納付（春学期）	10月納付（秋学期）	入学手続時納付（春学期）	10月納付（秋学期）
学費	入学金	100,000円	——	200,000円	——
	授業料	190,750円	190,750円	190,750円	190,750円
	施設設備費	64,500円	64,500円	96,000円	96,000円
	合計	355,250円	255,250円	486,750円	286,750円

*外国人留学生については、授業料を30%減免する。上記金額は減免後の金額。
但し、入学後の成績不良者については、学費減免措置を取り消す。

※第2年次以降の学費（授業料・施設設備費）については、負担の公平をはかるため、スライド制により毎年改定**します**。
別途、入学手続時に学会費を徴収**します**。（経営学研究科除く）

※入学手続時に納入された納付金は、2009年3月31日（必着）までに所定の様式にて申し出のあった場合、入学金以外の納付金を返還**します**。本学は2009年3月31日までに入学辞退の意思表示がない場合、2009年4月1日をもって入学といた**します**。

個別資格審査について

個別資格審査について

個別資格審査を必要とする出願資格の方は、以下の手続に従って事前審査を受けて下さい。

1. 出願期間

一般試験選考 留学生選考	前 期	2008年9月16日(火)から9月26日(金) (締切日必着)
	後 期	2009年2月 2日(月)から2月12日(木) (締切日必着)

2. 提出書類

資格認定申請書	本学所定の「資格認定申請書」に記入すること。
研究計画書	全員提出すること。詳細については、入試要項各選考の「出願書類」の項目を参照して下さい。
最終学歴の成績証明書	全員提出すること。
最終学歴の卒業証明書 もしくは 退学・除籍等の証明書	全員提出すること。
長3定型の返信用封筒	全員提出すること。審査結果通知用として使用します。 郵便番号・住所・氏名を記載し、350円切手を貼付のこと。

*詳細については、入試要項各選考の「出願書類」の項目を参照してください。